

# 長嶋茂雄氏が張本勲氏にビンタ！「お前が指導者になったらこの気持ちが分かるはずだ」

10/21(土) 11:45配信

## デイリー



張本勲氏

TBS系「サンデーモーニング」の「喝！」で人気の野球評論家、張本勲氏（77）が21日放送の同局系「サワコの朝」に出演し、巨人時代に長嶋茂雄監督（81）から平手打ちを食らった秘話を打ち明けた。

【写真】張本勲氏、自身を語る「性格悪い」

張本氏は1976年、日本ハムから巨人に移籍。監督2年目の長嶋氏は「厳しかったですよ。野球にすごく純粋な方なんです。勝ちたい一心なの」という人物だった。

「私35歳でしょ。パ・リーグでは肩で風切って歩いてた生意気な男ですよ」という張本氏だが、長嶋氏には「引っぱたかれましたよ。平手」と、ビンタされたという。

「富山県でゲームがあって、2対1でうちが勝ってたんですよ。確か6回裏かな。1アウト、三塁。私ですよ」というシチュエーション。

「スクイズのサイン出た。見ませんよ！。出ると思わないから。それでボール投げたでしょ。三塁ランナーの柴田（勲）が走って帰ってくるわけですよ。『お前何やってんだよ！』『張本さん、スクイズですよ！』」

張本氏は「私、何十年やってるけど、バントやったことないんだから。スクイズってのはね、打てない人がだいたいやるもんだから。なんで俺にバントのサインしやがってと思うじゃん」と、不満タラタラ。二死二塁と場面は変わり、張本氏は「たまたまヒット打って二塁ランナー帰ったんですよ」と、適時打を放った。

試合後、長嶋監督に呼ばれて「よし、小遣いでもくれるかな」と行った張本氏だが「座れ！」と一喝されて「パチーンと来たよ」と平手打ちされた。

長嶋氏は「お前がゴロを打つ場合もあるじゃないか。ダブルプレーなら点が入らないじゃないか。もう1点どうしてもほしいんだ。点が入って2アウトセカンドで王（貞治）に回して、そういう流れを俺は考えてたんだ。なんで監督のサインに従わないのか。お前が将来、指導者になったら、この気持ちが分かるはずだ」と、張本氏に熱く説いた。

張本氏は「この人は野球に対して純粋」と痛感し「よし、この人についていこうと思った。生意気な私をね、たたく人います？いないです」と、長嶋氏に忠誠を誓ったという。